

ASUKU ASK



08

2024

No.429



第36回通常総代会が終了しました



実参加が
増えています



▲多くの参加があり、活発な意見交換がありました
採決の様子

▶来賓を代表して、王隠堂正悟哉さん
からご挨拶

2024年6月14日(金)天白文化小劇場にて第36回
通常総代会が執り行われました。総代数は205名、うち
実参加82名、書面議決107名でした。多くの質疑があり
終了時刻は延長されましたが、全ての議案は採択されま
した。これより生活クラブ愛知の新年度がスタートします。



◀今年度も
このメンバーで頑張ります



▲「10年後の私たちのまち」
職員・石原ひなのさん作

まずは、第36回通常総代会議
案書の表紙を多くの組合員に見て
もらいたいです。このイラストは、
2023年10月7日に組合員リー
ダー・ワーカーズメンバー・職員
の3者が集まり実施した「私たちの
描くまちづくり」ワークショップで
の各グループの発表内容を、描い
たものです。

このイラストだけを見ると「建物
をいっぱい作りたいのか?」という
誤解を生むかもしれません。しか
し、真意はそこではなく「こんな機
能があったらいいね。そこに携わ
る人がワチャワチャいるまちに

なったらいいね。」です。

今はまだ「夢」にしか見えないイ
ラストかもしれません。しかし、10
年後20年後には「当たり前の姿」
にしていきます。そのためにも、
2024年度に掲げた1つ1つ方針
を着実に執行していきます。

「生活クラブは民主主義の学校
である」とよく言われます。組織運
営・会議運営・合意形成の在り方
等を日々の活動から学び合ってい
るからです。その点での反省は多
くありましたが、課題もはっきりと
見えてきた総代会でした。

(理事長 中野 京子)

contents

P1 第36回通常総代会が終了しました

P2 2024年度基本方針について
暮らしと社会をより豊かに!!

P3 総代会
おもな質疑応答より

P4 新米の季節が近づいてますが?!

P5 7月はシャボン玉月間

P6 豊田発 居場所カフェ「えにしんぐ」



この機関紙は、責任ある森林管理をしている林業者を応援し、世界の森林保全貢献につながるFSC® 認証紙を使用しています。

暮らしと社会をより豊かに！

多様なつながりづくりをすすめます



▲山田 専務理事

市民による自治領域を拡げていきます

6/14の総代会において、2024年度の生活クラブ活動方針を決定しました。その中から特に重要なポイントについて解説します。

(専務理事 山田 晃久)

①今ある組織力の強化とともに、すべての活動を拡大につなげます

生活クラブにおいて一番の魅力は、地域に住む組合員どうしでつくる組織があることです。組合員は今ある9つのエリアのどこか1つ「〇〇エリア」に必ず属します。どのエリアも組合員自らが自治するしくみをつくり、身近な地域課題や一人一人が持つ多様な課題を、自分事と捉えてみんなで話し合い、解決策を導き出しながら実践する取り組みを行っています。

単協の活動と、この地域での活動とが連携することで、市民による自治領域の拡大につながります。

常に組合員自身が自分たちにできることを考え、共感する仲間と一緒に行動することで、独自のしくみや機能を生み出してきました。この取り組みこそが、生活クラブがこれまで様々な社会的評価を受け、他生協や他団体からリスペクトされる理由でもあります。

皆さんが毎週購入している消費材は、他の生協やスーパーでは買えない、オリジナルのものばかりです。その開発一つ一つにストーリーがあり、必ず意志ある組合員の参加

と、思いや願いが詰めこまれて「消費材」として生まれています。食材だけではなくありません。エネルギーもたすけあいも、働くことも、生活するすべてにおいて、私たちが生み出した消費材として、世の中への対案として発信しつづけています。このようなしくみや機能は、おおぜいの組合員の意思が強くなるほど大きな力を発揮します。そして共感する仲間づくり(拡大)につながります。

生活クラブ愛知が今抱えている組織的課題は明確です。組合員の力を最大限発揮するためのエリア体制、この20年続けてきた独自のしくみが、今の多様化するさまざまな課題変化に対し、解決する機能として発揮する力、市民による自治力が弱まってきていることです。

9つのどのエリアも、組織をけん引する代わりあえる組合員リーダーの登場が少なく、委員長が不在となったり、委員数の減少が顕著となっています。本来、組合員活動は楽しくてやりがいのあるものです。活動に興味がある、もしくは新しく参加した組合員にとって、その場が自分の居場所のように、出番があり役割があり、全員がやりがいを感じる組織として機能していなければなりません。

主体的に参加する組合員が活動しやすい組織の在り方を考え、20年経過した組織体制を、新しい組織体制にアップデートする検討を始めます。

②組合員数を増やし、おおぜいの力で「愛知版ローカルSDGs」に取組みます

1万人の組合員がそれぞれ「生活クラブのここが好き(生活クラブのある暮らし)」を語り、おおぜいの力で組合員数を増やします。

生活クラブの魅力を伝え行動することは、「自分らしく生きる」「人とつながる、支えあう」「地球にやさしく」の実践です。仲間を増やすことは、自分たちの暮らしをより豊かにし、地域や社会に対する貢献、次の世代にも責任の持てる循環型持続可能な社会の実現へとつながります。

消費材の利用結集は生産と消費に責任を持つことです。消費材の持つメッセージ力は強く、消費材を作り続け社会を変えたい思いは生産者も同じです。一緒に活動するパートナーとして、利用結集、拡大に生産者を大いに登場させていきます。

誰も取り残さない社会を地域からつくる実践が「愛知版ローカルSDGs」の取り組みです。地域の居場所や多様なまちづくり機能の創出、新たな福祉事業やデポ構想について検討・実現していきます。愛知ワーカーズ・コレクティブ連合会との連携により、これらを実現する新たなワーカーズ・コレクティブの創出をめざします。また、生産者どうしでつくる親生会や他の協同組合、NPO団体、行政などと連携し、協同組合型地域社会の実践をひとつずつ進めていきます。

総代会

おもな

質疑応答より



組合員の
質問



組合員の
意見



理事会
回答・コメント

1号議案(2023年度事業報告)

- 紹介キャンペーンでの加入率37%は例年に比べて低いのでは？
- 前年より紹介件数は上がったが、加入率は下がっている。事務局として紹介組合員と連携を密にとっていきたい。
- 職員だけが拡大するわけではない。エリアの組合員全員でやるもの。

2号議案(2023年度決算報告)

- エコロ共済のお金の使い方について。給付率が低いが、今入っている組合員や新加入者、脱退抑止のために使ってほしい。
- 給付金の使われ方を個人に報告してほしい。収支報告書を。
- 掛金100円はたすけあいに使われるべきもの。コロナ前は40%だったが今は10%台。どうしたら使いやすくなるか、ケアが充実するか、考えていくのは組合員の皆さん。それを統括する地域福祉委員会に、必要な情報は報告している。エリアの経営委員会などで皆が討議することが大事と思う。

3号議案(2024年度活動方針)

- ひだまり館とは？地域に開くとか、配達センターも兼ねるとか説明があったが。
- 「地域に開かれた」というのは歩いてこられる範囲を想定している。配達センターではなく、豊田セン

ターから運んだ荷物をコースごとに詰め替える物流拠点。おかげでエリアの組合員となる安城拡大の拠点。

- リーダーシップ期待料が「役員報酬」という名称になったのは？
- 理事はもっと経営責任を持つということを明確にするために名称を変更した。
- 早期脱退者にメールでのアプローチなどできるのでは。
- 辞めた方のアドレスは個人情報なので利用に慎重になる。
- 統計によると、LINEの利用が93%、生活クラブが力を入れているInstagramは49%。なぜLINEを活用しないのか。
- 若い人はInstagramを見ている人が多い。情報発信が大切なのはわかるが、人員不足。新しいアイデアを求む。



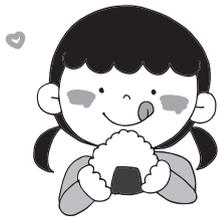
質問する組合員

- エコロファンドについて。積み立てたお金をどう外部団体に出すのか、どういう基準で、だれが判断するのか。細かいところまで詰めきれていないと賛成できない。

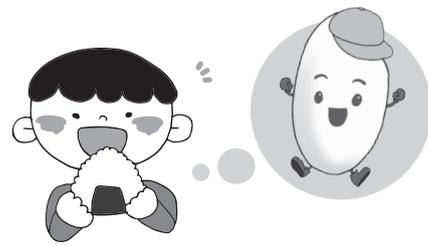
総代会とは？

組合員の代表(総代)が年に一度集まり、年間活動の方針や予算を討議して決定する、生協の最高議決機関です。

- 長期計画の中で突然ファンドの話が出て、ほとんどの人が何も知らないと思う。説明会も少ない。
- エコロファンドについては9次長計のころから、東京のシステム(100円のうち20円が基金)を参考に、同じようにしたいという話が出ていた。2019年に組合員1万になり、エコロ加入率80%を越えたので、次のまちづくりに使う環境が整った。総代会で方針を決めてきた。
- 「エコロファンドも活用しながら新たなW.Coを創出します」とあるが、具体的には？
- (ひだまり館で居場所事業をするW.Co「つむぎのおか」のような)地域に必要なとされる機能を、これまでの活動で積み上げた関係性やつながり、ノウハウも含めて持ち出して外に行こうということ。地域に必要なワーカーズを生み出すのにファンドを活用する。
- ファンドに賛成。自分たちの規模では生み出せなかったものができる。広域行政と連携した循環型のものに捉えている。
- 民生委員をしている。国自体が、地域での助け合いをすすめる方向。地域を巻き込み、まちをよくするファンドに賛成。
- 地域のまちづくりを進めるうえで、20円に賛成しないと先に進まない。
- 反対しているわけではない。透明性や拙速性にも疑問がある。カンパ方式だとわかりやすい。



新米の季節が近づいてますが?!



音羽米、食べてますか?

稲穂がキラキラと黄金色に輝く季節が近づいてきました。

生活クラブ愛知は、独自で豊川市音羽地区で音羽米を育てる研究会という米作りの農家のグループで作られているお米【音羽米】に取り組んでいます。音羽米は、地域の湧水を利用し、手間ひまをかけ作られています。

毎年、音羽米研究会と一年食べる量を決め、新米ができる10月頃から一年で取り組んでいます。今年も昨年と同量のお米を食べようと研

究会と約束をしています。

しかし近年、米ばなれでお米の消費が少なくなっています。一年約束したお米の量を食べ切らないと新米には切り替えられません。



音羽米、食べてみてね!!

愛知独自品の白黒のカタログに掲載されています (WEBはカラーで見られます)。玄米、白米、無洗米の5kgや白米、無洗米の2kgもあります。

予約も組み合わせればあなたの生活に合わせて選ぶことができます。

一度ご賞味ください。秋にはあなたも音羽米のファンになっているかも!です。

(消費担当理事 有働 恵子)



生活クラブ愛知単協オリジナルカタログ
音羽米はここですよ★

玄米ご飯も
美味しいから
好き!

とうもろこしの炊き込み
ご飯は甘く、毎日でも
食べたいな♡

ご飯、
おかわり♡

冷たい
お茶漬けが
したいな★

おやつは
おにぎり
がいいな♪

炊き立てのご飯
はたくさん食べる
わわ♪

こんなこと★ やってます つばさエリア

4月、5月の2か月間、春日井市で地域限定コース拡大の活動を展開しました。その山場として5/25に野本健司さんの「食品添加物講座 キレル子どもの食生活」を開催しました。野本さんの語り口は優しく、とても和やかな雰囲気ですが内容は深刻です。市販品にはたくさんの食品添加物が使われており、原材料を確認すれば避けられるもの、原材料に非表示なので知らないうちに口にしてしまうもの、その食品添加物が本当に安全なものか分からないものもあるそうです。「疑わし

いものは使用しない」「使用したものはすべて公開する」という生活クラブの原則に改めて共感しました。

ウインナーの発色剤やコチニール色素の実験もありました。みんな驚きの声を上げながら楽しく実験をしていました。食べものを自分で選ぶ大切さを痛感した講演会でした。

(つばさエリア 伊藤 哲世)



▲子どもたちが楽しく実験中♪

トピックス

おからパウダー・お料理おから

おからの本取組が始まっています。料理に混ぜて使うタイプと、ヨーグルトなどにかけて食べるタイプがあります。

おからは食物繊維が豊富で腸内細菌を増やすのに最適な食材です。日々の生活に取り入れて腸内環境を整えましょう!



今年のスローガンは
あなたの選択で未来が変わる
～始めよう石けん生活～

7月はシャボン玉月間

せっけんの良さを伝え、首長メッセージの寄稿をお願いするために行政訪問しました。

継続は力なり

7月の「シャボン玉月間」に先立ち、私たち組合員は、5月・6月に愛知県内の市役所環境部など関連部署を訪問しました。そして、「生活クラブがせっけんを広める活動を行っていること」「7月は特にシャボン玉月間として活動を盛り上げていること」「せっけん運動ネットワークの機関紙に市の取り組みを紹介するメッセージを寄稿してほしいこと」など、資料やポスターを持参してお願いに行きました。



▲尾張旭市役所に行きました

事前準備として、訪問する自治体の水環境の取り組みを調べたり、訪問先で行う説明の練習をしました。それは、自分の住むまちを知る機会にもなり、学びにもなりました。

今年は複数人の組合員で訪問したためか、例年よりも多くの職員で対応してもらえました。メッセージをもらえない自治体もありますが、継続していくことで私たちの思いを伝え続けたいと思います。

(環境担当理事 門脇 恵美)



▲つばさエリアの組合員が瀬戸市へ

▲けやきエリアの組合員が豊田市へ



メッセージが届きました!

- *豊明市
- *豊田市
- *知立市
- *東郷町
- *瀬戸市
- *みよし市
- *日進市



▲豊橋市役所の担当部署はこちら

「せっけん運動ネットワーク」は、せっけんの使用を入口に、水環境を守る視点から幅広く暮らしを見直そうと活動しています。全国で50団体の協同組合によって構成されている組織です。

生活クラブもその一員として、せっけん使用を広げる活動を一緒に行っています。



「人のお世話にならぬよう、人のお世話をすよう、そして報いを求めぬよう」政治家であり、ボーイスカウト日本連盟の初代総長を務めた後藤新平の言葉である。「自治三訣」と言われるこの言葉を乱暴に要約するならば「損得勘定抜きで社会奉仕をしよう」といった具合か▼利益や見返りを求めると人と人は時に争いを起こす。それが国家間の利益の争奪となると戦争に発展する。世界中の人が「自治三訣」を実践すれば平和な世の中になるはずだ。まずは身近な所から▼息子がボーイスカウトに入った十年前にこの言葉に出会い、それ以来私の行動の指針となっている。

(理事 谷口 亜紀)

6月事業報告

| | | |
|--------------|-----------|------|
| 組合員数 | 加入 | 脱退 |
| 10,981人 | 63人 | -69人 |
| 出資金 | 1人当り出資金 | |
| 1,323,859 千円 | 120,559 円 | |
| 供給高 | 1人当り供給高 | |
| 261,812 千円 | 25,071 円 | |

▼共済加入件数

| | | |
|---------|---------|---------|
| ハグくみ | CO・OP共済 | エコ共済 |
| 1,336 件 | 4,877 件 | 8,471 件 |

生活クラブでんき契約者

| | |
|------------|-----|
| 累計441件(6月) | |
| 再エネ100%プラン | 20件 |
| 時間帯別プラン | 9件 |



生活クラブ
でんき

今月のリユース率

| | |
|---------|--------|
| ビン | 回収率 |
| 900mlびん | …77.5% |
| 500mlびん | …77.3% |
| Rびん全体 | …76.5% |



グリーン
システム
30th
Reuse & Recycle



なんでもありのカフェ

豊田センターにはエリアの枠を超えた活動ができるよう、豊田センターまちづくり連絡会という組織があります。その中に有志による「やるまいプロジェクト」というグループがあり、以前から子育てサロンやミシンカフェを開催してきました。もっと多くの人にセンターに来てもらって組合員同士がつながって欲しいと、4月からミシンカフェと同じ日になんでもありの居場所カフェをオープンしました。何をしてもいいのでカフェの名前はそのまま「えにしんぐ」。



▼ロールペーパーホルダー作成中



手芸をしたり、ただただおしゃべりをしたり、お茶とお菓子を楽しみながら、それぞれが思い思いに過ごします。やるまいメンバーは知識が豊富なため、消費材やシステムに関する疑問は事務局に問い合わせるまでもなく、たいいていこのカフェで解決できてしまいます。

回を追うごとに参加者も増え、用意したお菓子が足りなくなることも。誰もがふらっと立ち寄れる、

そんな居場所を目指して、これからも楽しく続けていきたいです。
(理事 谷口)



▶お茶・コーヒーは飲み放題で200円

information

- エッコロクラブフェスティバル
8/22(木)
10:00~14:00
豊田産業文化センター
問合せ:福祉たすけあい推進課
- 秋の展示会
10/19(土)、20(日)
10:00~16:00
豊田センター
ベストファイブ(スーツ・シャツ等)、
パラマウント(くつ)、
東京真珠(宝飾品)他出展予定。
クッキーやパンなど
お土産コーナーがあります。

理事会報告

- 第1回定例理事会報告
6/27出席理事監事16名
- ◆討議・討議決定事項

 - ・「愛知2030目標具体化検討会議」中間報告、共有、及び討議
 - ・飼料関連情勢報告(大豆かす及び飼料用米)に関する意見
 - ・愛知県内5地域生協による「能登半島地震に対する支援活動」、および、「県内防災減災活動」の実施について

- ◆報告承認事項

 - ・24年度シャボン玉フォーラムinひょうごへの参加について 他

編集後記

- 質問・意見が相次ぎ、2度の時間延長となった総代会。みなさんの「生活クラブ愛」に圧倒されました。(N)
- ダンボールコンポストを始めて1年。野菜くずが分解されていくのを見ると、働き者の微生物たちに思いを巡らせてしまう。(春)
- 腰を屈め見回すと2歳の息子の視点になる。棚は階段、机や椅子はジャングルジム。目に見えるすべてが遊具。気をつけてねと見守る。(龍)